Dimmer Station (2回路)　取扱説明書

操作パネル

	各部の名称	機能
①	３桁ＬＥＤ表示灯	調光値・フェード時間等を表示します。
②	DMXモニター	外部DMXコントローラーを接続した時に点灯します。
③	モード表示ＬＥＤ	選択されたモードを表示します。
④	調光モニター	回路の調光出力の目安になります。
⑤	UP/DOWNスイッチ	調光値・フェード時間等を設定に使用します。
⑥	コントロールスイッチ	モードの切換え・シーンの記憶・アドレスの設定等に使用します。

モード概要

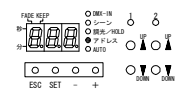
○シーンモード

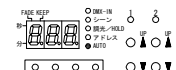
DS本体で記憶したシーンを出力します。
（別途シーン再生パネルが必要になります）

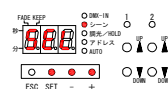
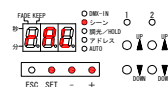
○DMXアドレス、出力動作設定

DMXのアドレスと調光回路か直回路か設定します。

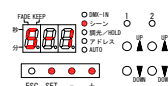
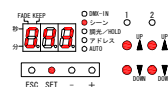
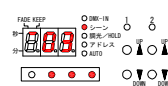
○DMX動作モード

DMX受信機として動作します。無信号時に直前の値を保持するか消灯するか設定します。

○AUTOモード

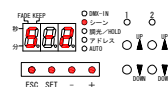
記憶させたシーンを自動的にループ再生させたりシーンスイッチに割り当てる事ができます。
自動調光や点滅に最適です。

シーンの記憶方法

○出力モードを変更する場合は、次項「DMX動作モード及び出力の設定方法」で出力モード設定を行ってください。
（出荷時は調光になっています）

１、モードを選択します。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して表示を（ＳＥＬ）にします。
・「-」「＋」スイッチを押して、モード表示を（シーン）に移動させます。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

２、シーン記憶時の出力の状態を選択をします。
「rAL」リアル出力＝設定している調光値をそのまま出力します。
「SHA」シャドー出力＝現在の状態を変化する事なく記憶できます。

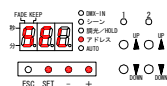
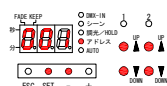
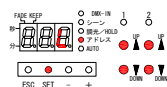
メモ：営業中等で出力を変えたくない場合に、シャドー出力で記憶させて下さい。
通常は確実に記憶を確認できるリアル出力をお勧めします。

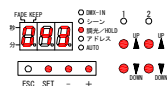
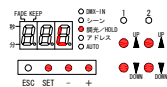
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

３、記憶するシーン番号を選択します。
・「-」「＋」スイッチを押して、記憶するシーン番号を選択してください。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

４、調光値を設定します。
・「▲」「▼」スイッチを押して、調光値を設定してください。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

５、フェードタイムを設定します。
・「－」「＋」スイッチを押して、フェードタイムを設定してください。
・フェードタイムは下記の範囲で設定できます。
０．１秒単位＝０．１秒～０．９秒
１秒単位＝１秒～９９秒
１分単位＝２分～９９分

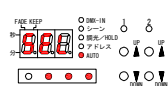
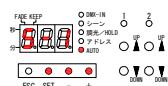
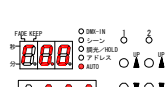
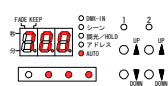
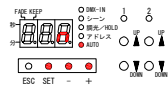
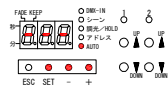
メモ：フェードタイムとは、シーンが立ち上がり変化している時間です。

・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

○３のシーン番号に戻ります。
・続けて記憶させる場合は、そのまま３からの手順で記憶させてください。
・終了させたい場合は「ESC」スイッチを数回押して元に戻してください。

メモ：「ESC」スイッチは、戻る時に使います。

DMX動作モード及び出力の設定方法

１、アドレスをセットします。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して表示を（ＳＥＬ）にします。
・「-」「＋」スイッチを押して、モード表示を（アドレス）に移動させます。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

２、アドレス番号をセットします。
・「-」「＋」スイッチを押して、アドレスを選択してください。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

３、出力のモードを設定します。
・「▲」「▼」スイッチを押して、モードを設定してください。
「d」　調光出力＝DMX入力0～255を調光出力します。
「J」　直出力１＝DMX入力0～254がOFFで255でONになります。
「L」　直出力２＝DMX入力0がOFFで１～255でONになります。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

※シーンで使用する場合は、前項の「シーンの記憶方法」に戻ってください。

４、ＤＭＸ動作設定
・「－」「＋」スイッチを押して、モード表示を（調光／HOLD）に移動させます。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

３、DMX出力のモードを設定します。
・「＋」「－」スイッチを押して、モードを設定してください。
「r」　DMXリアル出力。入力無データー時はOFFになります。
「H」　DMXホールド出力。無データー直前の状態を維持します。
「F」　DMX出力モード、本体の状態を出力します。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押してください。
・このまま「ＥＳＣ」スイッチを１回押すとアドレスが表示されて完了です。

AUTOモードの設定方法

１、モードを選択します。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して表示を（ＳＥＬ）にします。
・「－」「＋」スイッチを押して、モード表示を（AUTO）に移動させます。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

２、スタートのシーンを決めます。
・シーン1からシーン番号→フェードタイム→キープタイムの順番で設定して行きます。
・飛ばしたいシーンは、フェードもキープの0で入力してください。
・最初にフェードとキープ時間を入力したシーンからスタートします。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。

３、フェードタイムを設定します。
・フェードタイムは０．１秒から１秒まで０．１秒単位、1秒～９９秒まで１秒単位、２分～９９分まで１分単位で設定ができます。
（フェードタイム０にすると、点滅回路として使用できます。）

４、キープタイムを設定します。
・キープタイムは０．１秒から１秒まで０．１秒単位、1秒～９９秒まで１秒単位、２分～９９分まで１分単位で設定ができます。

５、マークを付けます。
・「＋」「－」スイッチを押して、マークを付けます。
ノン＝何にも処理をせずに次のシーン進みます。
（シーン８では「n」が表示されません）
エンド＝このシーン最後に停止状態になります。
リターン＝このシーンが終わるとシーン１に戻り繰返しループ再生します。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して次に進んでください。
（「E」・「r」を選択した場合次へ。。。）

５、解除と割り当てをします。
・「＋」「－」スイッチを押して、マークを付けます。
解除＝オートモードを解除します。
シーン番号＝１～４は、シーンパネルで呼び出しできます。
５～８は、外部接点信号で呼び出せます。
オート＝本体電源ＯＮで自動再生します。
・「ＳＥＴ」スイッチを一度押して完了です。

Style tec